

王亮 王求 亲斤 幸辰

美東 27 1710 68 14 神森	仲西 17 98 66 12 松島	美東 15 78 42 6 松島	神森 20 21延710 10長98 18 仲西	神森 24 1311 79 16 港川	具志川 27 1512 1110 21 鏡原	神森 32 1418 1510 25 具志川	港川 31 4P33延129 2T33長912 29 鏡原
---------------------------------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	---

県中学新人ハンド

ハンドボールの第9回浦添市長杯争奪・第40回県中学校新人大会最終日は19日、浦添市民体育館で行われ、男子決勝は神森が24-16で港川を退け、6年ぶり12回目の栄冠に輝いた。女子は美東が27-14で神森を下し、初優勝を遂げた。男女の優勝チームは、春の全国中学生選手権（富山県、3月24～27日）に県代表として出場する。優勝を除く男女のベスト4は後日、再びリーグ戦を行い、上位2チームが第25回全九州選抜（大分、3月23、24日）に派遣される。

神森男子 美東女子 V

3月の全国大会へ

激しく足を使った守りが生きて、前半で2点のリードを奪った美東。後半も最後まで足が止まらず、GK具志堅夏美のファインセーブから生まれた速い攻撃や、右45度金城菜摘のロングシュートなど一気呵成（かせい）の猛攻で、神森を突き放した。又吉桂三監督は「守備が良かった。具志堅を中心によくまとめた」と目を細めた。

横一戦の陣形を敷いた美東は、中央に164センチのポドルシュートで次々得点し

の左サイド城間陽菜を配した。大会前に左足首を捻挫し、ここ数日満足に練習もできなかったが、決勝は自己最多得点となる11得点を挙げた。

監督には、決勝のコートで爆発して言われ、そうしようと思っただけで、その目を細めた金城。具志堅も「パスがそれることもあったけど、皆がうまく取ってくれた」と振り返り「全国でも、走ってスピードある攻撃で押したい」と全国の大暴れを誓った。

（新垣梨沙）

金城爆発 11得点

美東



女子決勝 美東一神森 後半、センターからジャンプシュートを決める美東の金城菜摘＝19日、浦添市民体育館（花城太撮影）

6年ぶりVの男子・神森



初優勝を遂げた女子・美東

平仲好機を演出

神森

後半10分すぎに、5連続得点を挙げた神森が、それまで続いた港川とのシーソーゲームを抜け出した。CB平仲航が、巧みなボール回しで相手守備を引きつけてスペースをつくり、右45度の豊里友輔らチームメイトに好機を演出。じりじりと点差を引き離した。

20-15とした後半残り3分には、退場で1人欠け、平仲と豊里がマンツーマンに遭った。それでも、ボスト仲石直史らが早い攻撃で決めてくれる、と信じて回った。

（新垣梨沙）

焦点

加点。不利な状況でも点差をつけていた。前半はミスが続いたけど、後半はうまく巻いたけど、後半はうまく巻いた。チーム最多の9得点が付くことは事前に予想していた。何があっても、落着いていこうと話した。2-1-3など新しい守備を増やしていきたい。ミスをなるべくしてパスで攻めていきたい。3月の全国に向けて、さらなる成長を誓った。



男子決勝 神森一港川 巧みなボールさばきでチームをけん引した港川の平仲航。自身も6得点を挙げる活躍を見せた